



GOKOU

こ
こ
は、
地
域
の
若
者
の
声
か
ら
生
ま
れ
た
居
場
所



🏠 GOKOU

📍 教宗寺門徒会館(長崎市矢上町40-25)

🕒 毎日(8:30~21:00頃) ※不定休

👤 お賽銭

👤 中学生・高校生

📱 公式ラインもしくはInstagramより空き状況を確認ください

👥 みんなの居場所「GOKOU」チーム

☎ 095-838-2707 ✉ rnq5nq.0824@gmail.com



子ども食堂



イベント



多世代交流



遊び体験



子育て支援



フリースペース



公式LINE



GOKOU.16

居場所づくりを始めたきっかけ

インターネットが普及し、若者たちはSNSやチャットで気軽に人と繋がることができるようになりました。その一方で、デジタルツールを使ったコミュニケーションは実生活とは異なり、他者との境界線が曖昧になりやすく、相手の感情や言葉を正確に理解しづらいことから、人間関係が不安定になりやすいという問題も生じています。また、学校や家庭、SNSなどで日常的に「正しさ」を押し付けられる中で、その枠から外れたときに自分の居場所を見つけられず、困ったときに頼れる相手がいない若者が増えています。こうした「関係性の喪失」を感じたことから、地域に気軽に繋がれる場所を増やしたいという思いで、若者たちに向けた居場所づくりを始めました。

お寺を活用したみんなの居場所「GOKOU」

長崎市内の若者たちの、「長崎にもっと居場所が増えたら素敵な街になるのでは」という声からスタートした居場所。本来、家や学校が居心地のいい場所であってほしいですが、中にはそうでない学生がいます。「GOKOU」は学校の後に行ける場所(後校)と、仏様の暖かい光(後光)から名付けられ、気軽に立ち寄れる第三の居場所になって欲しいという思いがこもっています。

お寺の会館の空き時間を利用しており、利用料はお賽銭制。勉強やくつろぎなど自由に使うことができます。地域に根ざしたお寺という安心感のある場を活かし、特にテスト前には多くの学生が利用し、少しずつその役割を広げています。

他にも
こんな居場所が
あるよ

矢上地区みんな食堂

コロナ禍に様々な世代に孤立が広がっている中、多世代交流を目的としてスタートした居場所。初めは交流をメインに立ち上げを行い、2023年からは「矢上地区みんな食堂」という名称で食事の提供を開始。地域包括支援センターや社会福祉協議会と連携し開催しています。お寺の会館を会場とし、誰でも無料で参加できます。

食事の提供だけでなく、参加者が一緒に調理をしたり、折り紙やボードゲームを楽しむなど0歳から80代まで世代を超えた交流が行われています。

季節ごとの食事や遊びを通じて、地域のつながりや新たな体験の機会を作ること大切にしています。貧困対策だけでなく、関わる様々な人が活躍できる場を目指しています。



はまのまち保健室「ユースカフェ」

「長崎性教育コミュニティアスター」が主催する若者が気軽に相談できる居場所。

2024年7月から浜の町のカフェFROM1で月に1回開かれます。中学生から20代の若者なら誰でも無料で利用可能。カフェには看護師や不登校支援者、思春期保健相談士などの専門家が常在しており、こころや体の相談はもちろん、学校や家庭の悩みなどを気軽に相談できます。勉強したり、ゆっくりくつろいだり、雑談したりと使い方は自由。お菓子や希望者には生理用品などの無料提供も行います。まちなかの保健室のような場所を目指しています。